

# (平成 20)2008 年度事業報告書

2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日

ウッドマイルズ研究会

## 1. 事業の実施概要および成果

### ・関連指標及びツールの開発事業

関連指標算出マニュアルは、Ver.2008-01 以降の追加修正は行っていない。関連指標算出プログラムは、Ver.2008-01 以降、誤字脱字等の一部修正を行い、Ver.2008-03 まで更新作業を行った。

### ・普及及びネットワークの形成事業

「木材に関する環境指標の普及および統合」(地球環境基金助成事業 H20～22 年度)活動を主軸に、フォーラム(7月:東京)、セミナー(9月:京都)を開催。ウッドマイルズ関連指標算出技術者を養成する算出講習会は、希望に応じて随時開催(計9回)。その他、パンフレット2008年度版の発行、及びホームページ、ニュースレターによる情報発信を継続的に実施した。

### ・情報収集研究事業

第10回木質構造国際会議(6月:宮崎)の参加発表、および伐採木材の利用に係る炭素収支モデルの開発(森林総合研究所共同研究 H18～H22 年度)を実施した。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
関連指標及びツールの開発事業	マニュアル・プログラムの維持管理	4/1～3/31	事務局	1人	会員他多数	0
普及及びネットワークの形成事業	ウッドマイルズフォーラム2008in東京開催	7/4	東京ビッグサイト(国際展示場)	9人	参加者62名	806
	ウッドマイルズセミナー2008in京都開催	9/18、9/19	京都府職員福利厚生センター	11人	参加者72名	558
	算出講習会(合計9回)	4/21～1/31	事務局、下関、山梨、大阪ほか	1人	認定取得者46名	137
	ホームページ更新管理	4/1～3/31	事務局	1人	会員他多数	0
	ニュースレター配信(15～22号)	4/1～3/31	事務局	1人	会員他多数	0
	パンフレット発行(2種類)	9/1	事務局	1人	会員他多数	123
情報収集研究事業	第10回木質構造国際会議参加発表	6/2～6/5	宮崎観光ホテル	3人	参加者500名	160
	伐採木材の利用に係る炭素収支モデルの開発	7/1～3/5	事務局他	1人	研究チーム8名	2,001

<各事業の概要> ~ 詳しくは研究会ホームページ参照

### ウッドマイルズ研究会 2008 年度総会



日時 / 2008 年 7 月 4 日 (金) 10 : 00 ~ 11 : 30

場所 / 東京ビッグサイト 102 会議室

( 審議事項 )

- 1 ) 2007 年度事業報告及び収支決算について
- 2 ) 2008 年度事業計画及び収支予算について
- 3 ) 役員を選任について
- 4 ) その他

。

正会員 17 名および表決委任者 42 名による総会は、藤原議長のもと全ての議題が承認。

### ウッドマイルズフォーラム 2008in 東京



日時 / 2008 年 7 月 4 日 (金) 13 : 30 ~ 17 : 45

場所 / 東京ビッグサイト 102 会議室

主催 / ウッドマイルズ研究会 後援 / ( 社 ) 日本建築士会連合会、( 社 ) 全国木材組合連合会、( 独法 ) 環境再生保全機構、日本木質ペレット協会、( 財 ) 日本住宅・木材技術センター、自立循環型住宅研究会、京都府地球温暖化防止活動推進センター、京都府産木材認証制度運営協議会、下川町ふるさと開発振興公社、「生地の家」職人 ネットワーク、くまもと森林認証ネットワーク、N P O W O O D A C

〔 基調講演 : 環境時代の今、木材にできること、やるべきこと 〕

木材供給者の視点から ( 熊崎実氏 ) 森林と木材消費者を繋ぐウッドマイルズ ( 藤原敬氏 )

〔 パネルディスカッション : 各地の実践活動から木材の環境指標の連携・統合の可能性を探る 〕

京都府の活動 ( 白石秀知氏 ) 熊本県・宮崎県の活動 ( 松下修氏 ) 北海道の活動 ( 相馬秀二氏 ) 自立循環型住宅研究会の活動 ( 野池政宏氏 ) コーディネーター ( 三澤文子氏 )

「木材の環境指標の連携・統合を目指して」をテーマに、基調講演とパネルディスカッションを行い、木材のこれからの可能性や課題、各関係者の連携統合の必要性を会場も交えて議論した。研究会関係者をはじめ、自治体・森林木材業・建築業・その他一般企業など、総勢 62 名が参加。

## ウッドマイルズセミナー2008in 京都



日時 / 2008年9月18日(木)13:15~16:50、  
2008年9月19日(金)9:00~11:45  
場所 / 京都府職員福利厚生センター第1会議室  
主催 / ウッドマイルズ研究会 共催 / 京都府  
後援 / (社)日本建築士会連合会、(社)全国木  
材組合連合会、(独法)環境再生保全機構、(財)  
日本住宅・木材技術センター、(社)京都府建築  
士会、京都府地球温暖化防止活動推進センター、  
京都府産木材認証制度運営協議会

### 〔基調講演〕

地域の木で、地域の技で、地域の家を(藤本昌也氏) 環境指標による地域材の利用推進(藤原敬氏)

### 〔環境指標の実践現場から〕

京都府ウッドマイレージ CO2 認証制度の現状と可能性(柴田繁氏) 大阪府木づかい CO2 認証制度の  
試み(三宅英隆氏) ウッドマイルズとカーボンオフセット(伊東真吾氏)

### 〔地域材による家づくりの現場から〕

彩工房の家づくり(森本均氏) 地域材流通コーディネーターの役割とその必要性(安田哲也氏)

### 〔意見交換会〕コーディネーター(白石秀知氏)

「家づくりと地域の木」をテーマに、木材の生産者と利用者との連携を図る家づくりの現場に焦点を  
絞り、基調講演とパネルディスカッションを行い、各地の今後の実践方法や課題等について会場も交え  
て議論した。各地の自治体担当者、林業・木材業関係者、建築設計者・工務店、その他関係者・学生な  
ど、地域の木に関する幅広い参加者、総勢72名が参加。

## ウッドマイルズ算出講習会

月日	場所	受講者数	備考
4/21	事務局(岐阜)	2名	
7/31	事務局(岐阜)	1名	
8/4	安成工務店(下関)	4名	
10/16	事務局(岐阜)	6名	
11/20	事務局(岐阜)	1名	
12/11	都内ホテル(東京)	1名	
12/19	ナイス(株)(横浜)	3名	
1/22	山梨県森林総合研究所(山梨)	41名	主催/やまなしウッドマイルズ推進協議会
1/31	MOKスクール事務局(大阪)	10名	主催/MOKスクール大阪

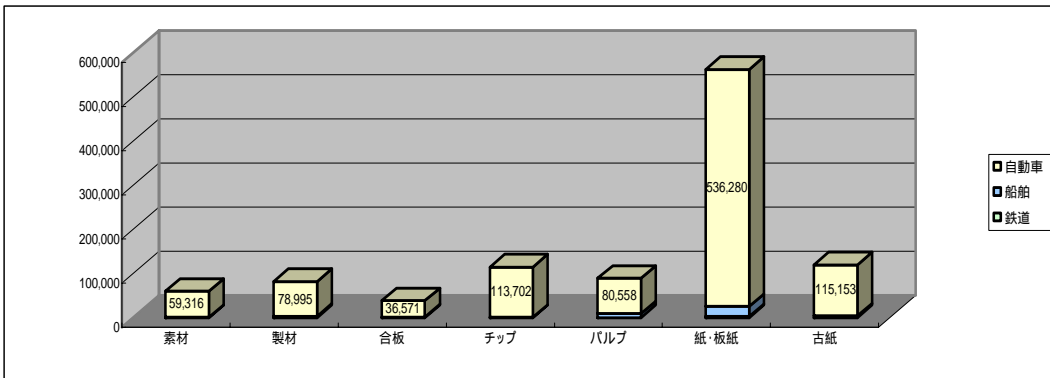
**WCTE(第10回木質構造国際会議)**



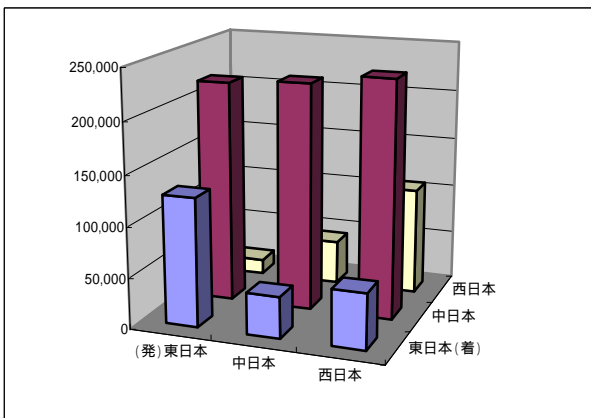
日時 / 2008年6月2日(月) ~ 6月5日(木)  
 場所 / 宮崎観光ホテル

10th World Conference on Timber Engineering (第10回木質構造国際会議)には、世界37カ国、総勢約500名が参加。「資源・環境」のセッションでウッドマイルズの活動「Lessons from the activities of the woodmiles forum (ウッドマイルズ研究会の活動からの教訓) (藤原敬、滝口泰弘、白石秀知、相馬秀二、松下修)」として、昨年度行ったウッドマイルズレポートモニター事業を中心に発表。

**伐採木材の利用に係る炭素収支モデルの開発 (輸送エネルギーの解析担当)**



(国内輸送品目別炭素排出量暫定値(t-C))



(3地域間輸送炭素排出量暫定値 合計(t-C))

2008(平成20)年度は、山梨県アンケート調査および外材製品市場ヒアリング調査から、輸入素材・製材品の輸送経路の特徴を把握すると共に、7品目(素材・製材・合板・チップ・パルプ・紙・古紙)に対して、今までの実態調査結果および各種統計データから、国内輸送炭素排出量を暫定的に推計した。



## 2. その他関連活動

### 木材利用に係る環境貢献度の見える化検討会（林野庁）

出席者：（社）大日本山林会、東京農工大学大学院、全国森林組合連合会、（社）全国木材組合連合会、住友林業（株）、積水化学工業（株）、コクヨファニチャー（株）、ウッドマイルズ研究会、グリーンコンシューマー東京、経済産業省、国土交通省、環境省、林野庁

合計4回の検討会（第1回：9/22、第2回：10/30、第3回：12/18、第4回：2/26）により、「木材利用に係る環境貢献度の定量的評価手法について（中間とりまとめ）」を作成。

### ウッドマイルズ研修会（山梨：5/19）/ウッドマイルズ講師（白石氏）

CO2 排出量をゼロに近づける住まいづくり研修会（岐阜御嵩：10/28）/ウッドマイルズ講師（滝口）

木質バイオマス講演会（滋賀東近江：10/31）/ウッドマイルズ講師（滝口）

岐阜県中小企業技術者研修会（岐阜高山：12/4）/ウッドマイルズ講師（滝口）

「地産地消」セミナー（北海道十勝：1/28）/ウッドマイルズ講師（相馬氏）

とやま県産材アドバイザーフォローアップ研修会（富山：3/18）/ウッドマイルズ講師（滝口）

「環境の時代と木造住宅～地産地消の家づくりに向けて」（社）日本建築士会連合会編（3/18発行）



三澤文子氏、六車昭氏、和田義行氏、藤本昌也氏による座談会をはじめ、木の香る住宅工房（広島）、森とすまいの会（静岡）、伊那谷の森で家をつくる会（長野）、サンゲンカクの家取組、大工塾の活動など、各地の実践事例が収録されている。他、提言編では、ウッドマイルズ研究会の活動が40ページに渡って掲載。また、建築士継続能力開発（CPD）制度の認定教材になっている。

### ウッドマイルズフォーラム in 美幌



日時 / 平成21年4月18日（土）13:30～17:30  
場所 / 美幌町民会館 第2ホール（北海道網走郡美幌町東2条北4丁目）

主催 / 北海道地域材活用事業産学官連携実行委員会

共催 / ウッドマイルズ研究会

後援 / 北海道森林管理局、北海道木材産業協同組合連合会、北海道木材青壮年団体連合会、北海道、美幌町、HoPE 建築関連研究会

〔基調講演〕『持続可能な森林経営とCO2の見える化を目指して』（箕輪光博氏）

〔パネルディスカッション〕『各地の実践活動から木材の環境指標の連携・統合の可能性を探る』

「木材調達における環境指標～合法木材とウッドマイルズ」（藤原敬氏）

「顔の見える認証材で人・環境に優しい家づくり」（高橋広明氏）

「地材地消と北の木の家づくりの実践」（武部豊樹氏）

（コメンテーター：箕輪光博氏、古俣寛隆氏）

（コーディネーター：滝口）

美幌町産の森林認証材を活用した低炭素な家づくり支援や、森林バイオマス吸収量活用カーボンオフセットなど、先駆的な取組を進めている北海道東部の美幌町において、CO2の見える化、持続可能な森林、ウッドマイルズ、地材地消の家づくり等をテーマとした、基調講演+パネルディスカッションによる「ウッドマイルズフォーラム in 美幌」を開催。フォーラムには道内の関係者約40名が参加。

### 3. 研究会の組織

(2009/4/1 現在)

算出技術者認定取得のための算出講習会を、希望に応じて随時開催にしたことを中心に、個人、法人ともに会員数が大幅に増加した。ホームページ改訂に伴うニュースレター形式の変更にも応じて、ニュースレター読者も順調に増加した。

種 別	2007 ( H19 ) 年度	2008 ( H20 ) 年度	備 考
顧問	21 名	19 名	
技術委員	4 名	4 名	
正会員個人	75 名	100 名	25 名増加
正会員法人	16 社	28 社	12 社増加
賛助会員個人	27 名	28 名	
賛助会員法人	0 社	0 社	
認定算出技術者	40 名	87 名	47 名増加
ニュースレター配信	219 名	301 名	82 名増加

### 4. ホームページアクセス状況

(2009/4/1 現在)

月平均のアクセス数は 700 人程度。

	インプレッション数	セッション数	ユニークユーザー数
4 月	5,645	926	645
5 月	5,904	1,060	794
6 月	5,627	1,008	746
7 月	7,546	1,292	963
8 月	4,860	957	740
9 月	5,181	984	720
10 月	5,692	988	723
11 月	4,694	800	596
12 月	5,480	826	602
1 月	6,197	1,194	826
2 月	4,286	870	665
3 月	4,334	825	617

インプレッション数：各ページビュー（各ページの閲覧回数）

セッション数：同一ユーザーの単位時間（30 分）のサイト内閲覧を 1 とした数。

ユニークユーザー数：述べ訪問者数ではなく、複数回訪問した人は 1 名とした訪問者数。

## 5. 掲載紙等利用状況 (2009/5/1 現在)

< 新聞報道 >		
2008/6/19	日刊木材新聞	ウッドマイルズ・木材の環境指標の紹介
2008/7/4	しんぶん赤旗	ウッドマイルズコラム連載
2008/7/11	しんぶん赤旗	ウッドマイルズコラム連載
2008/7/12	日刊木材新聞	ナイスわくわくフェア・ウッドマイルズブース紹介
2008/7/18	しんぶん赤旗	ウッドマイルズコラム連載
2008/7/25	しんぶん赤旗	ウッドマイルズコラム連載
2008/8/12	日刊木材新聞	京都府木材認証制度報告
2008/10/7	朝日新聞	岐阜県欄連載コラム「森からの伝言」にてウッドマイルズ紹介
2009/1/1	建設興業タイムス	「中国四国地方初 ウッドマイルズ指標発表」～「地場産財を活かした環境循環型住宅を考えるグループ(島根)」の県産住宅のウッドマイルズ指標発表
2009/1/29.30	北海道新聞、十勝毎日新聞、北海道建設新聞	ウッドマイルズ講演も交えた「地材地消」セミナー(1/28 北海道十勝)レポート
2009/4/21	北海道新聞、美幌新聞	ウッドマイルズフォーラム in 美幌(4/18)レポート
< 書籍、冊子 >		
2008/7/4	(協)山梨県産材健康住宅研究会パンフレット	県産材を使う理由としてウッドマイルズ紹介
2008/6/13	平成 19 年度北海道森林づくり白書	p79 ウッドマイルズコラム
2008/8/20	「古材文化 Vol.81」古材文化の会	巻頭言「木材の環境指標で地域の人々をつなぐ～ウッドマイルズ研究会の活動」掲載
2008/9/10	Thing (トステム情報誌)	住宅トレンド(低炭素)に、当会作成図表(木造のCO2排出、固定)掲載
2008/11/1	新研ゼミ高校講座「高2 受験チャレンジ小論文」2008.11号	「私のごはんと地球環境」の中で日本のウッドマイルズ掲載
2009/1/1	「チルチンびと」No.52	「薪ストーブから考える木と炎と地球環境(稲山正氏)」の中でウッドマイルズ掲載
2009/1/15	「建設政策」2009.1号	「国産材で住宅を建てる」の中で、ウッドマイルズ、京都府制度紹介
2009/1/20	山陰経済ウィークリー	「住宅建設の輸送時 CO2 排出 県産材なら外材の6割削減」～「地場産財を活かした環境循環型住宅を考えるグループ(島根)」の県産住宅のウッドマイルズ指標発表
2009/3/18	環境の時代と木造住宅	建築士会による建築士継続能力開発(CPD)制度の認定教材。『国産材の「環境貢献度」を示す新指標「ウッドマイルズ」』として、40 ページにわたりウッドマイルズ研究会の取組を掲載
2009/3/19	「ぎふの木」木造建築構造特記仕様書および同解説	参考資料編として「ウッドマイルズ」掲載
2009/4/1	茨城県産材普及促進協議会パンフレット	輸送エネルギーを削減する「地産地消」の温暖化防止策として「ウッドマイルズ」を掲載
2009/4/6	北海道木材利用推進協議会パンフレット	地元の木材使ってCO2を削減する方法として「ウッドマイルズ」を掲載
2009/5/1	「新建築住宅特集」2009.5号	特集「素材からの環境への取組」の中で「ウッドマイルズ」掲載

(平成20)2008年度事業会計収支決算書

2008年4月1日から2009年3月31日

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要	金額		
収入の部			
1 会費・入会金収入			
(1) 年会費			
・正会員個人 5,000円×56名=280,000	280,000		
・正会員法人 30,000円×20社=600,000	600,000		
・賛助会員個人 3,000円×14名=42,000	42,000		
・賛助会員法人 30,000×0=0	0		
		922,000	
2 事業収入			
(1) 関連指標及びツールの開発事業			
1) 建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアルVer.2008発行	0		
(2) 普及及びネットワークの形成事業			
1) フォーラム、セミナー開催			
・ウッドマイルズフォーラム2008(東京)	87,000		
・ウッドマイルズセミナー2008(京都)	123,000		
・算出講習会(随時)	155,580		
2) 情報発信			
・ホームページ情報更新、ニュースレター配信	0		
・2008年度研究会パンフレット・レポートサンプル編集発行	0		
(3) 情報収集研究事業			
1) 伐採木材の利用に係る炭素収支モデルの開発(森林総合研究所共同研究)	2,000,000		
2) WCTE国際会議参加発表(宮崎)	0		
		2,365,580	
3 補助金・助成金収入			
(1) 環境再生保全機構(地球環境基金)			
・「木材に関する環境指標の普及および統合」活動助成金(フォーラム・セミナー・WCTE)	1,100,000		
		1,100,000	
4 その他			
(1) 利息・雑収入	979		
		979	
当期収入合計(A)		4,388,559	
前期繰越収支差額		16,129	
収入合計(B)			4,372,430
支出の部			
1 事業費			
(1) 関連指標及びツールの開発事業			
1) 建築物ウッドマイルズ関連指標算出マニュアルVer.2008発行	0		
(2) 普及及びネットワークの形成事業			
1) フォーラム、セミナー開催			
・ウッドマイルズフォーラム2008(東京)	806,251		
・ウッドマイルズセミナー2008(京都)	557,624		
・算出講習会(随時)	136,684		
2) 情報発信			
・ホームページ情報更新、ニュースレター配信	0		
・2008年度研究会パンフレット・レポートサンプル編集発行	123,390		
(3) 情報収集研究事業			
1) 伐採木材の利用に係る炭素収支モデルの開発(森林総合研究所共同研究)	2,001,421		
2) WCTE国際会議参加発表(宮崎)	159,696		
		3,785,066	
2 管理費			
(1) 事務局賃金	0		
(2) 事務局旅費	54,308		
(3) 通信費	36,680		
(4) 支払手数料	10,220		
(5) 消耗品費	69,945		
(6) 借損料	33,800		
(7) 交際費	65,332		
(8) 雑損失(2007年度会費未集金計上分相殺)	170,000		
		440,285	
当期支出合計(C)			4,225,351
当期収支差額(A)-(C)			163,208
次期繰越収支差額(B)-(C)			147,079



(平成20年度)2008年度事業会計貸借対照表

2009年3月31日現在

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要	金額		
<b>資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	12,178		
預金	228,401		
売掛金	5,000		
前払費用	0		
立替金	109,500		
流動資産合計		355,079	
2 固定資産			
固定資産合計	0		0
資産合計			355,079
<b>負債の部</b>			
1 流動負債			
短期借入金	0		
未払費用	0		
前受金	208,000		
預り金	0		
流動負債合計		208,000	
2 固定負債			
固定負債合計	0		0
負債合計			208,000
<b>正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		16,129	
当期正味財産増加額		163,208	
正味財産合計			147,079
負債及び正味財産合計			355,079

(平成20年度)2008年度事業会計財産目録

2009年3月31日現在

ウッドマイルズ研究会

科目・摘要	金額	
資産の部		
1 流動資産		
現金		
現金手許高	12,178	
預金		
十六銀行美濃支店	228,401	
郵便局	0	
売掛金		
会費	5,000	
前払費用	0	
立替金		
ウッドマイルズフォーラムin美幌	109,500	
流動資産合計		355,079
2 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		355,079
負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	0	
未払費用	0	
前受金		
2009年度分年会費	208,000	
預り金	0	
流動負債合計		208,000
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		208,000
正味財産		147,079

# 2008 年度 収支決算 監査報告書

ウッドマイルズ研究会の 2008 年度の収支決算について、会計担当ならびに事務局長の立会いのもとに監査を行いましたので、次のとおり報告します。

## 1. 監査方法の概要

会計監査のため、帳簿および領収書綴り、各事業計画書・収支予算書および各事業報告書・収支決算書ならびに預金通帳等をそれぞれ照合し、必要に応じて会計担当ならびに事務局長に説明を求めて調査しました。

## 2. 監査の結果

会計帳簿の記載は正確で、関係書類ならびに会計処理はすべて適正であり、2008 年度収支決算書に相違がないことを認めます。

平成 21 年 6 月 20 日

ウッドマイルズ研究会

監 事 辻 充孝



監 事 中村 泰子

